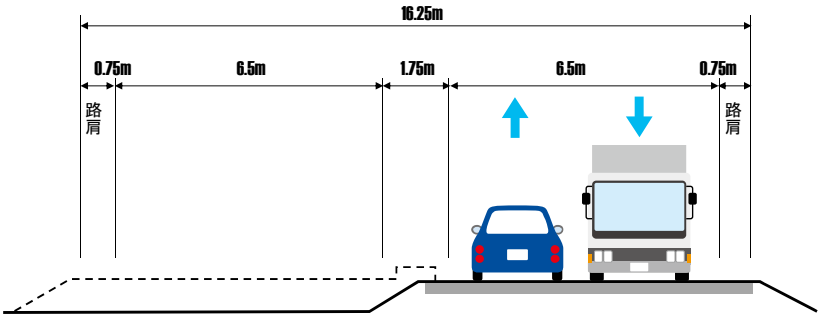
瑞浪恵那道路の概要

- 国道19号は、名古屋市を起点とし、岐阜県東部（東濃地方）を通過して長野市に至る、延長約270kmの幹線道路です。
- 名古屋市から岐阜県中津川市までの延長約90kmのうち、瑞浪市～恵那市間以外は既に4車線以上で開通しています。
- 瑞浪恵那道路は、現道19号の**渋滞・事故等**の**交通課題解消や、リニア中央新幹線の波及効果を支える道路**として整備する、瑞浪市と恵那市を結ぶ延長12.5kmのバイパス事業です。

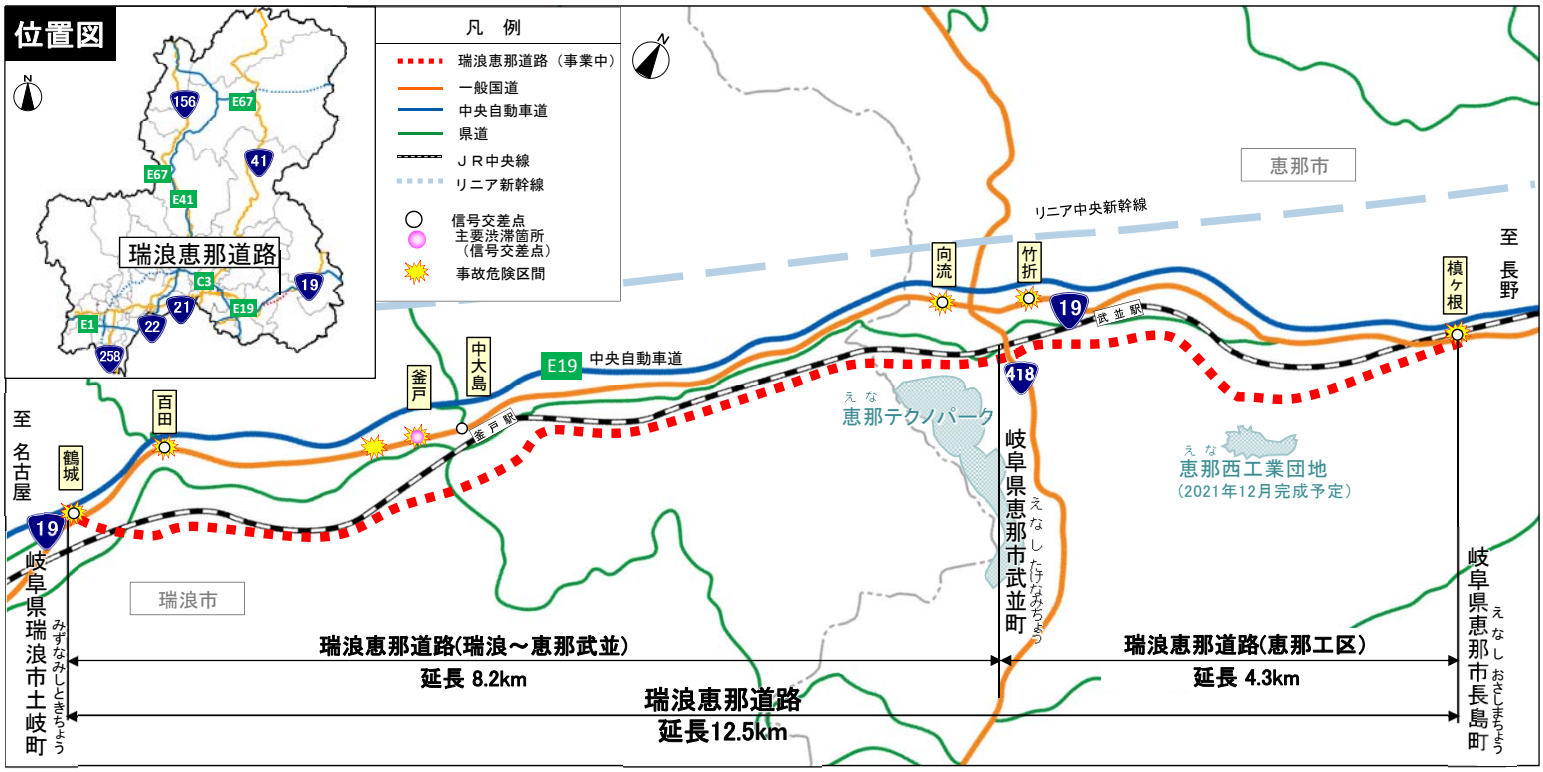
◆瑞浪恵那道路の諸元

事　業　名：一般国道19号瑞浪恵那道路
起　終　点：岐阜県瑞浪市土岐町～岐阜県恵那市長島町
計画延長：12.5km
構造規格：3種2級
車　線　数：4車線（暫定時は2車線）
設定速度：60km/h



◆事業の経緯

1983年	調査開始
2001年～2004年	PI実施「瑞浪・恵那間の道を考える懇談会」 構想ルート帯提言（2004年）
2009年　10月	環境影響評価　方法書 公告・縦覧
2011年　9月	都市計画説明会
2012年　10月	環境影響評価　準備書 公告・縦覧
2014年　4月	都市計画決定
2014年　4月	環境影響評価　評価書 公告・縦覧
2015年　4月	瑞浪恵那道路（瑞浪～恵那武並） 事業化
2018年　4月	瑞浪恵那道路（恵那工区） 事業化



国土交通省　中部地方整備局　多治見砂防国道事務所　2019.2

～瑞浪恵那道路の進捗状況（瑞浪～恵那武並）～

瑞浪市土岐町の状況（2018年12月撮影）

事業の流れ

事業の流れ	瑞浪～恵那武並
事業化	2015.4　事業化 2015.8～9　事業説明会
測　量	2015.11.21　中心杭打ち式
設　計	2017.3～6　設計説明会
用　地	2017.12.3　着工式
工　事	現在　調査・用地取得・工事中
完　成	

横断函渠　2019年2月撮影

事業説明会（第2回）2015年8月25日

設計説明会（第2回）2017年5月30日

着工式　2017年12月3日

2017年12月3日(日)瑞浪市土岐町地内において、地域の方々や行政関係者など約170人の出席のもと着工式を開催しました。

～瑞浪恵那道路の進捗状況（恵那工区）～

早期着工に向けて 路線測量・地質調査を推進中!!

○ 恵那市武並町の状況（2018年10月撮影）

事業の流れ

- 事業化
- 測　量
- 設　計
- 用　地
- 工　事
- 完　成

恵那工区

2018.4　事業化
2018.8　事業説明会

2018.10.27　中心杭打ち式

現在　測量・地質調査中

事業説明会（第2回）　2018年8月9日

中心杭打ち式　2018年10月27日

中心杭設置　2019年1月

横断測量　2019年1月

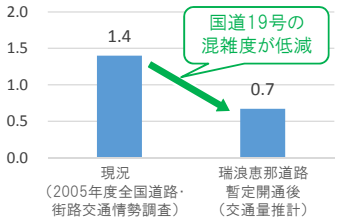
恵那市武並小学校において、地域の方々や行政関係者など約150人の出席のもと中心杭打ち式を開催しました。
順次、測量を実施し、中心杭を現地に設置しています。

～瑞浪恵那道路のストック効果～

走行性・安全性の向上が期待!

- 国道19号は、地域の生活交通と広域的な物流・観光交通が輻輳し、主要渋滞個所の釜戸町交差点等で渋滞するとともに、追突事故や正面衝突事故が多発。
- 瑞浪恵那道路の整備により広域交通がバイパスに転換することで、国道19号の混雑度低減や事故減少など、走行性・安全性の向上が期待。

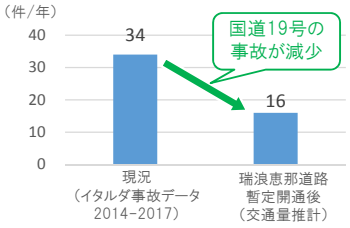
国道19号の混雑度



※国道19号（鶴城～槙ヶ根）の平均値
※混雑度：道路のサービスレベルを示す指標
1.00未満…渋滞やそれに伴う極端な遅れはほとんどない
1.25以上…渋滞する時間帯が加速度的に増加する状態

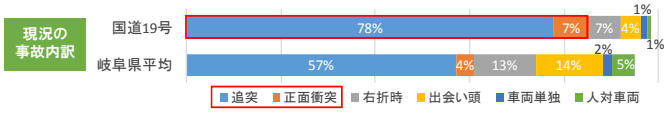
釜戸町交差点の渋滞状況

国道19号の事故件数

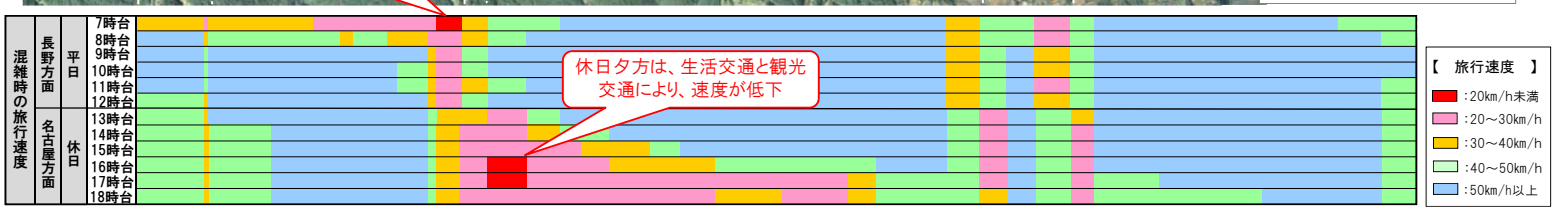


※国道19号（鶴城～槙ヶ根）の合計値

国道19号現道で発生した交通事故



瑞浪市～恵那市の国道19号の課題箇所

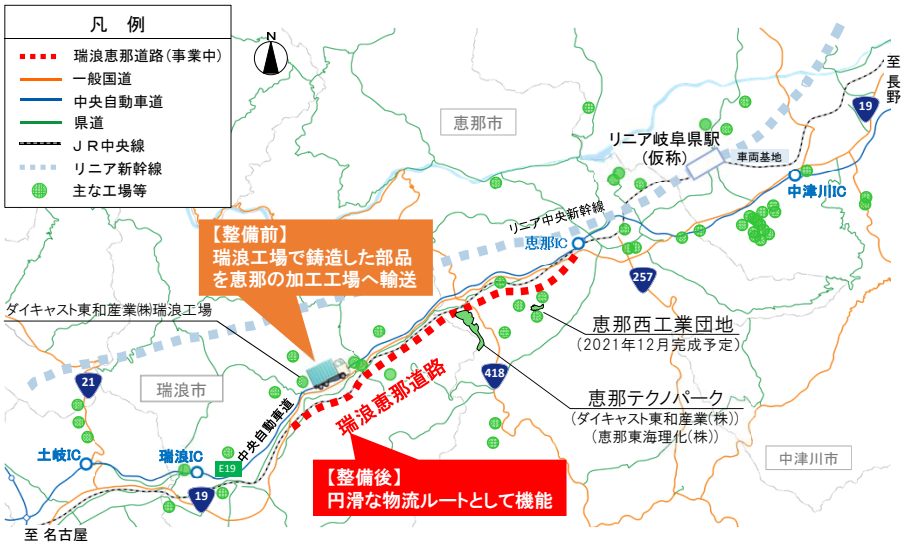


※2017.9-11 ETC2.0データより

～瑞浪恵那道路のストック効果～

- 国道19号沿線には恵那テクノパークのほか製造業が多数立地しており、物流の円滑化や定時性確保など円滑な企業活動の支援に関する企業ニーズが存在。
- 恵那市では、新たな工業団地(恵那西工業団地)への企業進出が決定。今後、瑞浪恵那道路の整備と、リニア中央新幹線の開業も相まって、さらなる民間投資・雇用創出に期待。

国道19号沿線の主な工場



国道19号沿線企業の声

- 国道19号は事故が多く、遅れると支障が生じます。瑞浪恵那道路ができれば、渋滞や事故、通行止め時の迂回が容易になります。
- 加工工場が恵那にしかないため、瑞浪工場で鋳造した部品を恵那工場に輸送する必要があり、物流の円滑化を期待します。

恵那テクノパーク(ダイキャスト東和産業㈱)ヒアリング結果(2019.1)

- 輸送の多くがトヨタ系列であり、ジャストインタイム方式のため、渋滞や事故による遅れが生産に影響するおそれがあります。
- 渋滞のない道路ができれば、時間の短縮により物流コストの低減が期待できます。
- 通勤が便利になることで、労働力の確保も期待しています。

恵那テクノパーク(恵那東海理化㈱)ヒアリング結果(2019.1)

工業団地の企業活動支援

恵那テクノパークの
物流などを支援！

・敷地：約65ヘクタール
・立地企業数：14社
・従業員数：1,648人

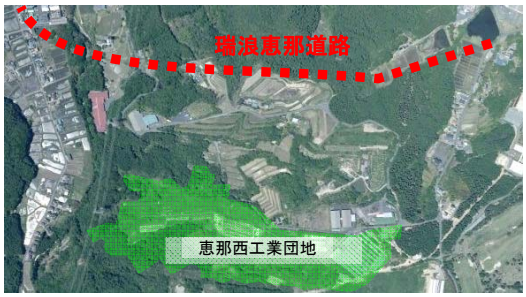
[恵那テクノパーク概要]
・鉄道車両用電機品企業1社
・自動車部品企業 5社
・その他企業 8社

2018.3現在

新たな工業団地への企業進出

恵那西工業団地への企業進出が決定!!

・敷地：約15ヘクタール
・進捗：全3区画中3区画が完売
　　2019年より工事着手
・完成：2021年12月予定



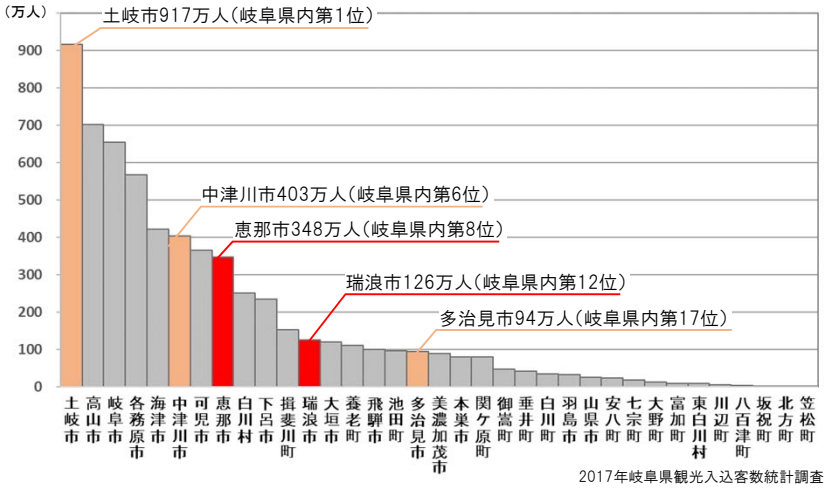
～瑞浪恵那道路のストック効果～

観光産業の活性化を支援!

恵那峡(恵那市)

- 瑞浪市と恵那市の観光入込客数は年間約500万人。
- 瑞浪恵那道路は点在する観光施設を繋ぐ周遊ルートとして観光交通を円滑化。
- 今後、リニア中央新幹線（2027年開業予定)を利用した観光客に対し、瑞浪恵那道路を利用した周遊観光により観光産業の更なる活性化に期待。

瑞浪市・恵那市の観光入込客数(2017年)



2017年岐阜県観光入込客数統計調査

観光施設の声

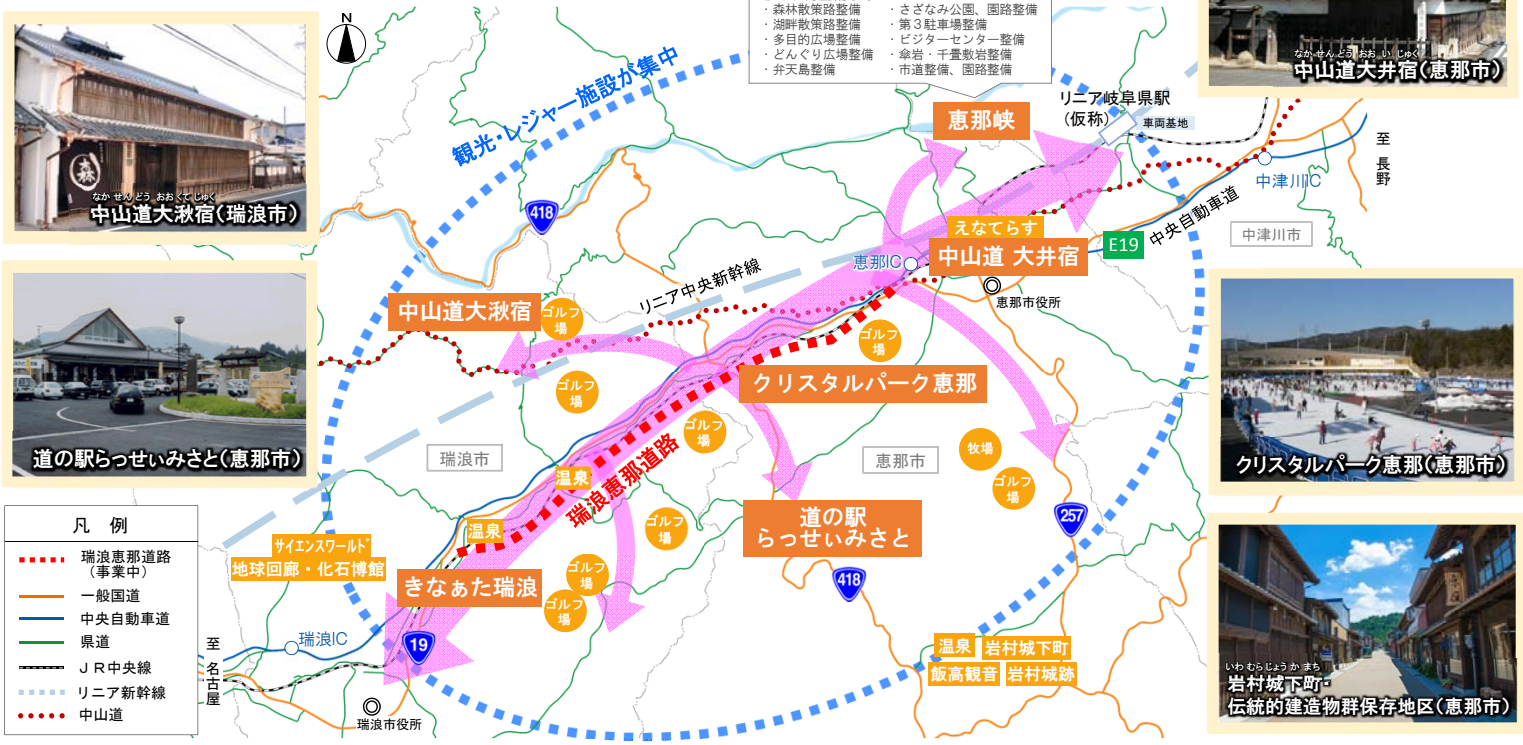
•瑞浪恵那道路により、アクセス向上と集客増加を期待しています。

岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場ヒアリング結果(2019.1)

•瑞浪恵那道路により周遊性が向上することで、立ち寄り客の増加に期待します。

道の駅らっせいみさとヒアリング結果(2019.1)

周辺観光地と周遊ルート



～瑞浪恵那道路のストック効果～

- 国道19号は狭隘な地形に中央自動車道と並走しており、土砂災害等による道路寸断のリスクが存在。
- 2017年8月には、中央自動車道で約34時間の通行止が発生し、迂回交通により国道19号が大渋滞。
- 瑞浪恵那道路の整備により、道路寸断時に迂回可能な信頼性の高い道路ネットワークを構築。

狭隘な地形と国道19号沿線の土砂災害警戒区域

中央道土砂流出事故時の渋滞状況

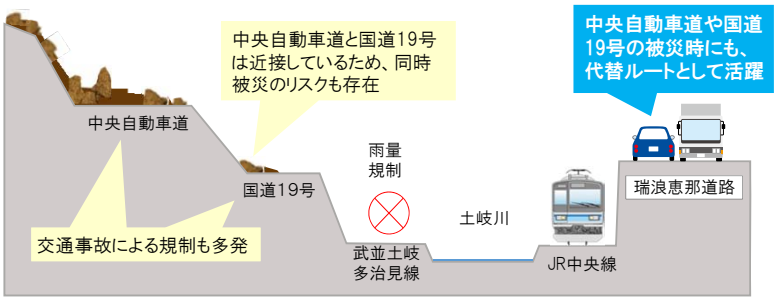
中央道土砂流出事故によるIC閉鎖による渋滞発生

2017年8/18(金)中央自動車道において沿線からの土砂流入により約34時間の通行止が発生

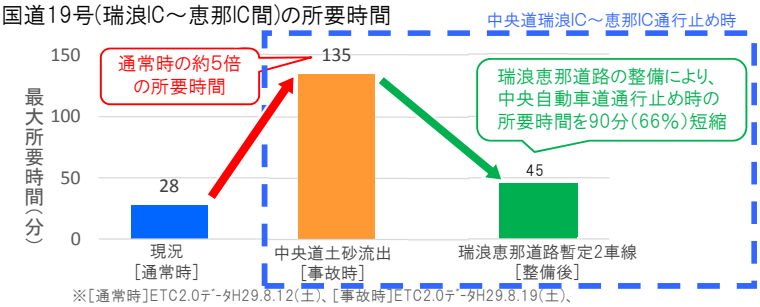
[通行止区間]　瑞浪IC～恵那IC

[通行止時間]　34時間20分(8/18(金)21:40～8/20(月) 8:00)

瑞浪恵那道路による代替ルートの確保



○国道19号(瑞浪IC～恵那IC間)の所要時間



※[通常時]ETC2.0データH29.8.12(土)、[事故時]ETC2.0データH29.8.19(土)、[整備後]瑞浪恵那道路暫定2車線・中央道規制時の交通量推計による